

2025年春期(第176回)講演大会記録

2025年春期講演大会を、3月8日から10日の期間に東京都立大学南大沢キャンパスにおいて開催した。また、3月13日にはオンラインで高校生・高専学生ポスターセッションを開催した。

- 3月8日 9:00~9:40 開会の辞, 大韓金属・材料学会会長挨拶, TMS Young Leader 紹介, 各賞贈呈式(6号館110)
- 9:50~11:45 学会賞受賞記念講演, 本多記念講演(6号館110)
- 13:00~17:15 シンポジウム講演(11号館)
- 13:00~16:30 ポスターセッション, 高校生・高専学生ポスターセッション(8号館1階および9号館1階)
- 13:00~16:30 学生キャリアサポート企業展示(8号館1階)
- 18:30~20:30 懇親会(LINK FOREST)
- 3月9日 9:00~17:50 一般講演, シンポジウム講演, 受賞講演, 招待講演, 共同セッション(11号館, 12号館)
- 12:10~12:50 企業ランチョンセミナー(12号館)
- 3月10日 9:00~16:45 一般講演, シンポジウム講演, 受賞講演, TMS Young Leader 講演, 共同セッション(11号館, 12号館)
- 3月8日~3月10日 総合受付, 付設機器・カタログ展示会(11号館1階)
金属組織写真展示(12号館1階)

開会の辞

榎 学会長より開会の挨拶があった。

大韓金属・材料学会代表挨拶(3月8日)

本会と大韓金属・材料学会との学术交流協定にもとづき招待をした, Young Keun Kim 会長からの挨拶があった。



開会の辞: 榎会長。

KIM: Young Keun Kim 会長のご挨拶。

TMS Young Leader 紹介(3月8日)

本会とTMSとの国際交流促進協定にもとづき, TMS から第19回 Young Leader International Scholar 受賞者として派遣された Yue Fan 氏が紹介された。

贈呈式(3月8日)

榎 学会長の式辞に続き, 下記の賞の贈呈式を行った。尚, 贈呈式および記念講演の様子はオンライン会議システム Zoom で配信を行った。

- 第70回学会賞贈呈式 東田賢二君に対して賞状と賞牌ならびに副賞贈呈(受賞者; 本誌287頁)
- 第66回技術賞贈呈式 2名に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者; 本誌288頁)。
- 第31回増本量賞贈呈式 1名に対し賞状ならびに副賞贈呈(受賞者; 本誌288頁)。
- 第64回谷川・ハリス賞贈呈式 1名に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者; 本誌288頁)。
- 第83回功績賞贈呈式 7名(学術部門5名, 技術部門2名)に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者; 本誌289頁)。
- 第56回研究技能功労賞贈呈式 12名に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者; 本誌290頁)。
- 第72回論文賞贈呈式 7編44名に対し賞状ならびに楯贈呈(授賞者; 本誌292頁)。
- 第75回金属組織写真賞贈呈式 最優秀賞1件, 優秀賞2件に対し賞状ならびに楯贈呈(受賞者; 本誌296頁)。
- 名誉員推戴式 新名誉員2名に対し推戴状ならびに名誉員章贈呈(推戴者; 本誌298頁)。
- 第8回フェロー認定式 新しくフェローに認定された2名に対し認定証贈呈(認定者; 本誌299頁)。



受賞者の皆様で記念写真。おめでとうございます!

第70回学会賞受賞記念講演(3月8日)

「転移とクラック: 強靭化メカニズムのさらなる理解に向けて」 九州大学名誉教授 東田賢二 君

第70回本多記念講演(3月8日)

「異方性材料デザインにより材料を主役に~耐熱性金属間化合物から, 骨組織, 金属3Dプリンティングによる生体材料へ~」 大阪大学教授 中野貴由 君

日本金属学会・日本鉄鋼協会合同懇親会(3月8日)

日時: 3月8日(土)18時30分~20時30分

場所: LINK FOREST(〒206-0034 多摩市鶴牧 3-5-3)

参加者: 213名(本会への申込者・招待者83名)

開会の辞・司会 東京都立大学助教 井尻政孝
 来賓挨拶 東京都立大学学長 大橋隆哉
 日本鉄鋼協会会長挨拶
 日本製鉄株式会社代表取締役副社長 福田和久
 日本金属学会会長挨拶・乾杯 東京大学教授 榎 学
 懇談
 閉会の辞 東京都立大学助教 井尻政孝



大会参加者

1,199名(事前：1,087名，後期(当日)74名，相互聴講38名)
 ・有料申込数1,042名
 正員573名，学生員328名，非会員一般49名，非会員学生16名
 維持員会員社員34名，協賛学協会会員一般2名，協賛学協会会員学生2名，日本鉄鋼協会との相互聴講38名
 ・無料参加者数157名
 受賞講演者・非会員基調講演28名，高校生ポスター参加者・ユース会員49名，
 65歳以上会員・名誉員80名

学術講演会(3月8日～10日，13日)

最終講演件数636件
 欠講6件(講演番号：一般講演 No.171，No.228，No.287，No.330，ポスターセッション：P114，P137)
 学会賞受賞記念講演1件
 本多記念講演1件
 公募シンポジウム講演4テーマ60題(基調講演19題含む)
 企画シンポジウム3テーマ 20題
 一般講演352題(名誉員推戴記念講演1題，功績賞受賞講演7題，技術賞受賞講演2題，増分量賞受賞講演1題，招待講演1題，TMS ヤングリーダー scholar 講演1題含む)
 共同セッション2テーマ13題(谷川・ハリス賞受賞講演1題含む)
 ポスターセッション145題
 高校生ポスター 44題

講演会場 12会場

第44回ポスターセッション(3月8日)

日時：3月8日 13：00～16：30
 第一部 13：00～14：30
 第二部 15：00～16：30
 場所：東京都立大学南大沢キャンパス 8号館1階廊下および9号館1階廊下
 145件のポスター発表が行われ，優秀ポスター賞審査対象となっている117件の内容・発表について1次審査と2

次審査の2段階で審査が行われた。シンポジウム講演と併催であったが，多くの聴講者が来場し，ポスターセッション会場は大変盛況であった。

3月9日に「優秀ポスター賞」授賞者15名を決定し，3月10日に受賞者を講演大会会場受付および本会講演大会ホームページで発表した。

第13回高校生ポスターセッション(3月8日，3月13日)

日時・開催場所：3月8日(土) 13：00～16：30 現地(東京都立大学南大沢キャンパス 8号館1階廊下および9号館1階廊下)
 3月13日(木) 14：00～16：30 オンライン(zoom)

発表者の希望により，現地21件とオンライン23件で合計44件の高校生・高専学生(3年生以下)ポスター発表が行われた。発表を審査した結果，日本金属学会賞2件，最優秀賞2件，優秀賞15件を決定し，3月17日に講演大会ホームページにて発表した。

現地発表はポスターセッションと同じ会場でポスターを掲示して行い，オンライン発表は Zoom ミーティングで発表資料を画面共有して行った。なお，オンライン発表では，事前に提出されたポスター画像をポスター掲示システム上に掲載した。いずれも熱心に取り組んだ研究内容が発表され，審査員や聴講者と活発に質疑する様子が見受けられた。発表した学生は大学教員等からのアドバイスを熱心に聞き，今後の研究に生かそうという意欲を見せていた。ポスターセッションや他校の発表を聴講する発表者もあり，また，オンラインでは他校の発表を聴講するなど高校生同士の交流も行われていた。

金属学会・鉄鋼協会共同セッション

「チタン・チタン合金」12題(金属8題，鉄鋼4題)は3月9日，鉄鋼協会会場10で開催した。
 「高温溶融体の物理化学的性質」9題(金属4題，鉄鋼5題)は3月9日，金属学会 E 会場で開催した。

第19回 JIMM/TMS Young Leader International Scholar Program(3月10日)

Joint JIMM/TMS Young Leader International Scholar Program として，TMS から派遣された Young Leader の Yue Fan 氏は一般講演「金属ガラス・アモルファス」の中で講演発表後，座長より賞状が授与された。



付設機器・カタログ等展示会(第51回)

機器展示14社およびカタログ展示3社の出展があり，11号館1階にて展示会を開催した。講演会場と隣接していることもあって，多くの来場者でにぎわった。

学生キャリアサポート企業展示(3月8日)

企業が学生会員に向けて、会社概要、今後の採用情報、インターンシップ募集情報、研究開発動向等を紹介する企業展示をポスターセッションの会場で実施した。

- ㈱豊田中央研究所
- 産業技術総合研究所
- ㈱徳力本店
- 合同製鐵(株)

第19回企業ランチョンセミナー(3月9日)

昼休み時間帯に昼食を提供して、講演大会参加者に最新の技術情報を聴講いただく、30分程度のランチョンセミナーを開催した。

- オックスフォード・インストゥルメンツ(株)(F会場)
- 産業技術総合研究所(I会場)
- ㈱新興精機(M会場)

第16回男女共同参画ランチョンミーティング(3月10日)

「金属材料分野での多様なキャリアパス」をテーマに、今回は企業の研究や製造で育児休暇取得を経験された3名の男性の育休中の経験や家族・職場同僚との協力などについて、パネルディスカッション形式で開催した。参加者の半数以上が男性で、男性の育児休暇取得経験について高い関心が伺えた。

参加者：31名

託児室

3月9日(日)、10日(月)に託児室を開設した。

利用者数

3月8日0名

3月9日6名(7歳2名、4歳1名、3歳2名、1歳1名)

3月10日3名(7歳2名、3歳1名)

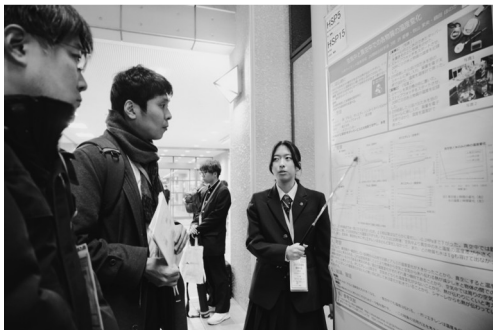
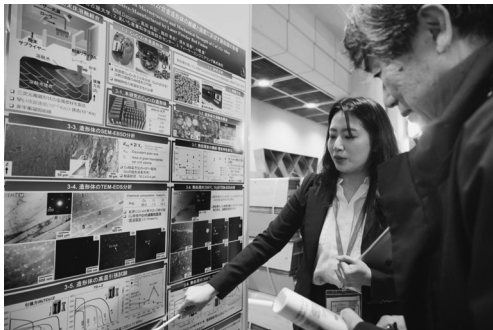
【大会雑記】

東京都立大学での開催は、2017年以来2回目の開催であった。

今回は、日本金属学会と日本鉄鋼協会の会場建物間が徒歩10分程度の距離があったため、両会へ参加する参加者にはご不便をおかけいたしました。

3月8日の初日は雪が舞う寒い日となったが、最終日の3月10日は春の日差しが暖かい日になるなど、寒暖差のある会期であったが、3日間の講演大会を無事に終了することができた。

東京都立大学の寛幸次先生、井尻政孝先生およびアルバイト学生の皆様、事務関係者各位には、お忙しい中を諸般にわたり万端のご配慮とご協力をいただき、心から厚く御礼申し上げます。



～中学生・高校生のポスター発表もあり、活気あふれる講演大会でした。～